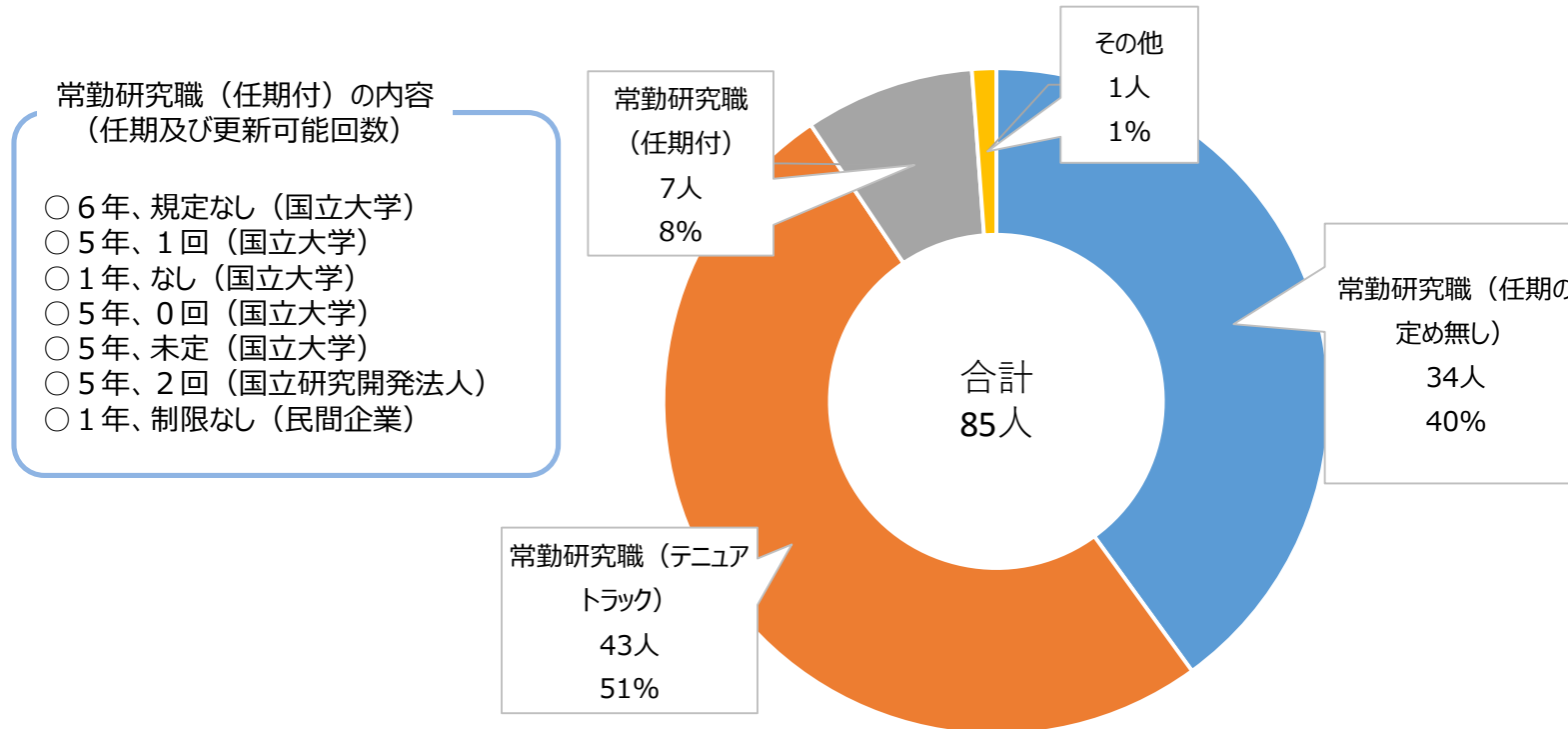


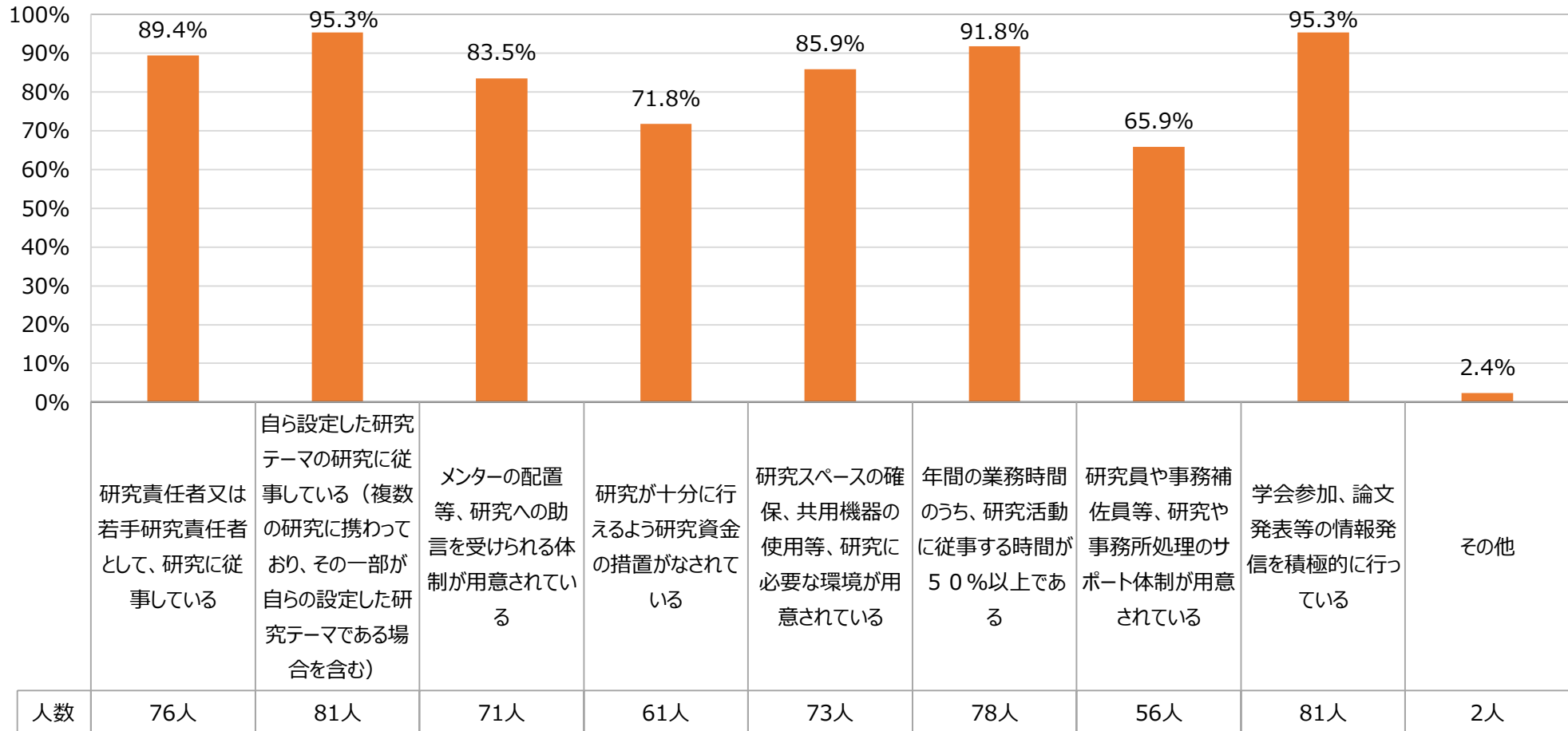
令和元年度卓越研究員事業の追跡調査結果（平成28年度卓越研究員の研究活動状況①）

平成28年度卓越研究員事業に申請し、卓越研究員となった者に対して、研究活動状況等について追跡調査を実施
(R1.11実施 対象者数：86名、回答者数：85名（回答率 99%）)

○雇用形態について



○研究活動状況について

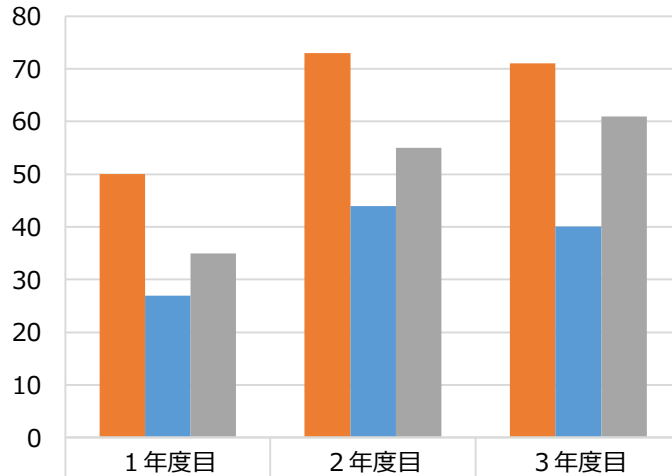


その他の主な内容

○国際共同研究を進め、成果の国際的発信を意識して研究している

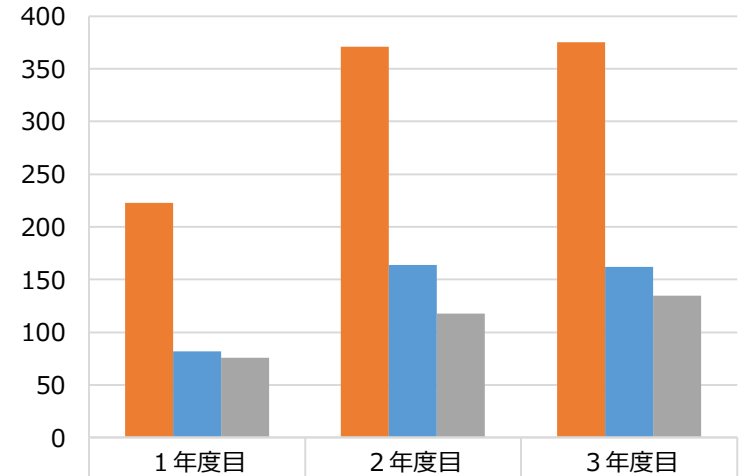
○研究活動実績について（論文発表）

<論文発表人数>



論文発表人数（人）	50	73	71
うち、国際共著論文あり	27	44	40
うち、第一著者・責任著者あり	35	55	61

<論文数>



論文数（件）	223	371	375
うち、国際共著論文	82	164	162
うち、第一著者・責任著者	76	118	135

最も学術的価値の高い論文が掲載されたジャーナル名（第一著者・責任著者のみ・3年度目）

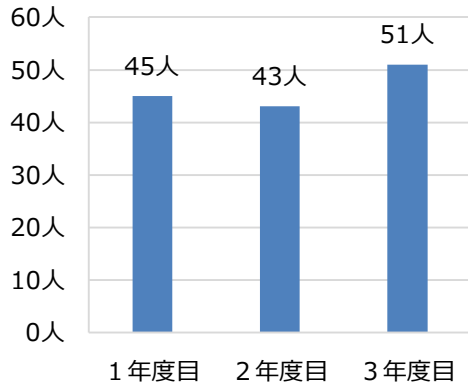
○ACS Sustainable Chem. Eng. ○Animal Science Journal ○Applied Physics Letters ○Astrophysical Journal ○Biochimica et Biophysica Acta - Bioenergetics ○Cell Reports ○ChemElectroChem ○ChemistryOpen ○ChemNanoMat ○Dalton Trans ○Economics Letters ○Electrochimica Acta ○Energies ○Food Quality and Preference ○Froniers in Immunology ○IEEE Symposium on VLSI Circuits ○IEEE Transactions on Multimedia ○IEEE Wireless Communications ○IEEE/ASME Journal of Microelectromechanical Systems ○Inorganic chemistry ○International journal of microgravity science and application ○J. Alloys Compd.(Rikito Murakami・Shunsuke Kurosawa) ○Japanese Journal of Applied Physics ○Journal of Contaminant Hydrology ○Journal of Cosmology and Astroparticle Physics ○Journal of Environmental Management ○Journal of Photopolymer Science and Technology ○Journal of the Physical Society of Japan ○Micromachines ○Mutation Research ○Nature Communications ○Nature plants ○New phytologist ○Optics Letters ○Organic & Biomolecular Chemistry ○OSA Optics Express ○Peptide Science ○Physical Review Applied ○Physical Review D ○PLoS One ○PNAS ○PROCEEDINGS OF THE NATIONAL ACADEMY OF SCIENCES OF THE UNITED STATES OF AMERICA ○Publications of the Astronomical Society of Japan ○Rheumatology (Oxford) ○Science Advances ○Scientific Reports ○Semiconductor Science and Technology ○The Journal of Chemical Physics ○The Journal of Physiology ○アジア経済 ○大気環境学会誌

令和元年度卓越研究員事業の追跡調査結果（平成28年度卓越研究員の研究活動状況④）

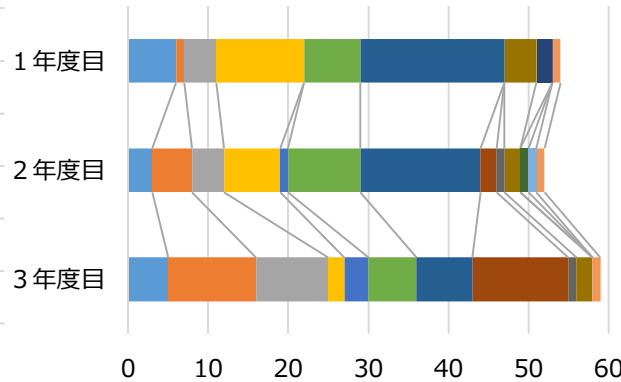
○研究活動実績について（科研費）

※各年度2件まで回答

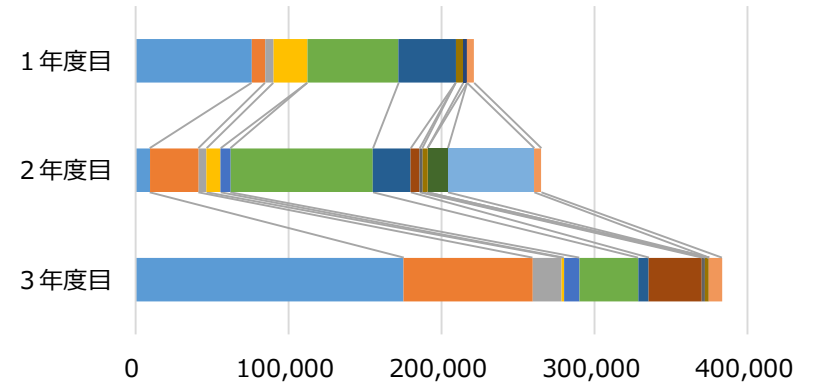
＜獲得人数＞



＜科研費・種目別獲得件数（件）＞



＜科研費・種目別獲得金額（千円）＞



	1年度目	2年度目	3年度目
■新学術領域研究	6	3	5
■基盤研究(B)	1	5	11
■基盤研究(C)	4	4	9
■挑戦的萌芽研究	11	7	2
■挑戦的研究	0	1	3
■若手研究(A)	7	9	6
■若手研究(B)	18	15	7
■若手研究	0	2	12
■独立基盤形成支援	0	1	1
■研究活動スタート支援	4	2	2
■特別研究員奨励費	2	0	0
■国際共同研究強化	0	1	0
■帰国発展	0	1	0
■特設分野	1	1	1

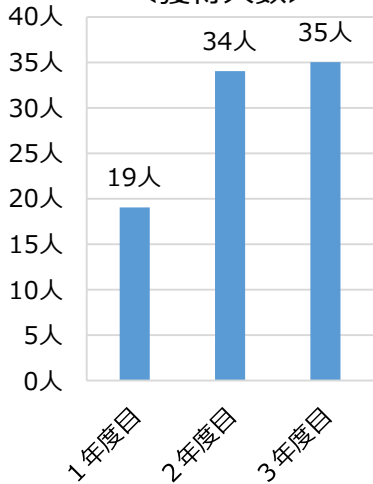
	1年度目	2年度目	3年度目
■新学術領域研究	75,950	9,400	175,180
■基盤研究(B)	8,710	31,770	84,280
■基盤研究(C)	5,582	5,250	18,820
■挑戦的萌芽研究	21,970	9,290	1,670
■挑戦的研究	0	6,500	10,100
■若手研究(A)	59,690	92,970	38,390
■若手研究(B)	37,450	24,570	6,910
■若手研究	0	5,850	34,830
■独立基盤形成支援	0	1,950	1,950
■研究活動スタート支援	4,700	3,380	2,600
■特別研究員奨励費	2,630	0	0
■国際共同研究強化	0	13,390	0
■帰国発展	0	56,290	0
■特設分野	4,500	4,500	8,450

令和元年度卓越研究員事業の追跡調査結果（平成28年度卓越研究員の研究活動状況⑤）

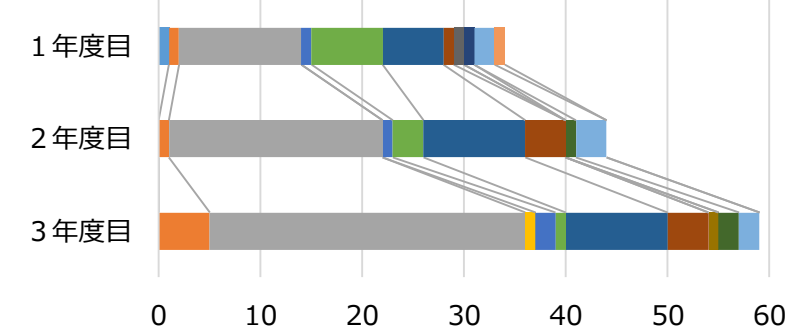
○研究活動実績について（その他外部資金）

※各年度4件まで回答

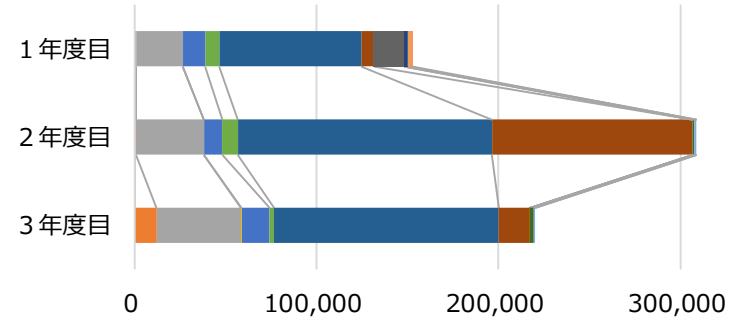
＜獲得人数＞



＜助成団体別獲得件数（件）＞



＜種目別獲得金額（千円）＞



助成団体(3年度目)

○AMED次世代がん若手連携研究ファンド
 ○CREST ○JST さきがけ
 ○MSD生命科学財団 ○キヤノン財団 ○永井科学技術財団 素形材融合分野 奨励金 ○金森財団 研究助成
 ○公益財団法人みずほ学術振興財団 第61回工学研究助成 ○公益財団法人池谷科学技術振興財団 2018年度研究助成金 ○住友財団 2018年度基礎科学研究助成 ○前川報恩会 ○村田学術振興財団 ○内藤記念次世代育成支援研究助成 ○日揮・実吉奨学会 ○日本食品化学振興財団 ○農林水産省 農食事業 など

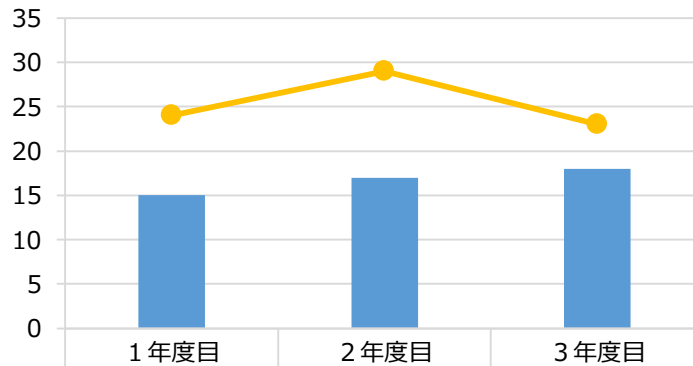
	1年度目	2年度目	3年度目
株式会社	1	0	0
一般社団法人	1	1	5
公益財団法人	12	21	31
公益信託	0	0	1
官公庁	1	1	2
独立行政法人（JSPS）	3	3	1
国立研究開発法人（JST）	6	10	10
国立研究開発法人（AMED）	1	4	4
国立研究開発法人（NEDO）	1	0	0
国立研究開発法人（JAEA）	0	0	1
国立研究開発法人（NICT）	1	0	0
国立大学等（所属大学）	0	1	2
国立大学等（所属外）	2	3	2
海外	1	0	0

	1年度目	2年度目	3年度目
株式会社	650	0	0
一般社団法人	300	800	12,100
公益財団法人	25,700	37,400	46,480
公益信託	0	0	450
官公庁	12,270	10,000	15,150
独立行政法人（JSPS）	7,698	8,690	2,500
国立研究開発法人（JST）	78,050	139,520	123,442
国立研究開発法人（AMED）	7,000	110,269	16,872
国立研究開発法人（NEDO）	16,375	0	0
国立研究開発法人（JAEA）	0	0	500
国立研究開発法人（NICT）	2,120	0	0
国立大学等（所属大学）	0	1,170	2,050
国立大学等（所属外）	444	1,088	425
海外	2,300	0	0

○研究活動実績について（その他）

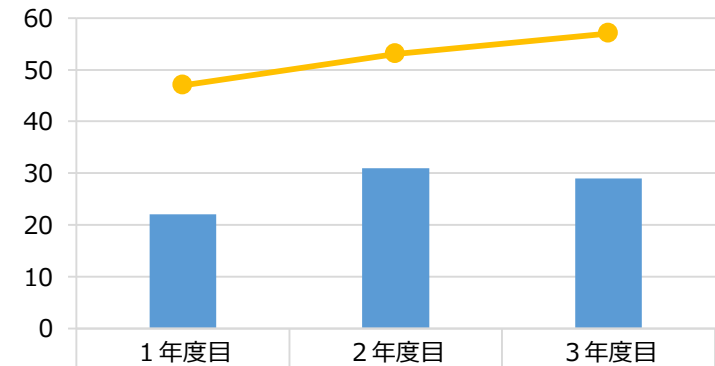
※各年度3件まで回答

＜受賞歴＞



受賞人数	15	17	18
受賞件数	24	29	23

＜国際会議招待講演＞



講演人数	22	31	29
講演件数	47	53	57

賞の名称(3年度目)

○2018JSME Annual Meetings and 10th ASMEポスター賞 ○2018年度 染色体学会賞 ○CNBベンチャー大賞 中部経済産業局長賞 ○Hot Article Award, Analytical Sciences, 2018. ○Outstanding Reviewer Awards 2018 ○Reviewer of the Year for Superconductor Science and Technology in 2018 ○一般財団法人 天野エンザイム科学技術振興財団 第19回酵素応用シンポジウム 研究奨励賞 ○科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞 ○熊本大学研究企画被表彰者 ○公益財団法人日本ビフィズス菌センター ビフィズス菌センター研究奨励賞 ○公益信託 第21回エスベック地球環境研究奨励賞 ○第35回センサ・マイクロマシンと応用システム 優秀ポスター発表賞 ○電気化学会女性躍進賞 ○電子情報通信学会 エレクトロニクスソサイエティ レーザ量子エレクトロニクス研究会 奨励賞 ○東京農工大学 学長賞 ○日本リウマチ学会 APLAR トラベルグラント2018 ○日本物理学会若手奨励賞 ○平成31年 KEMRI Annual Scientific and Health(KASH) Conference, Best Presenter Award など

その他実績

○国際共同研究（2名）
 ○特許出願（10名）
 ○国際ワークショップ等の開催（2名）
 ○書籍出版（6名）
 ○講義・セミナーの実施
 ○研究業績が国際的に評価の高い科学誌である米国科学アカデミー紀要（PNAS）に掲載
 ○執筆した総説がChemNanoMat誌のCover Featureに選定
 ○学会誌への寄稿
 ○大強度陽子加速器施設J-PARCのPAC（共同利用実験審査委員会）に提出した新規実験提案J-PARC E69が、2018年度に実験承認（Stage-2 approval）を得た
 ○In addition to the results mentioned above I have developed a tool for formal verification of software systems, Constructor-based Inductive Theorem Prover (CITP) など

令和元年度卓越研究員事業の追跡調査結果（平成28年度卓越研究員の研究活動状況⑦）

○主な意見（改善希望事項等）

	意見分類	主な内容
A	制度改善全般に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○他機関に所属している卓越研究員との交流機会があるとよい（4件） ○論文投稿時に番号などを求められることがあるので、卓越研究員事業の番号を付与してほしい ○Researchmapを参照してほしい
B	ポスト・当事者間交渉・採用後の処遇等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○マッチング率が低い（4件） ○マッチングに際して、事前に就労条件や評価基準等についても研究機関情報として開示していただくことが望ましい ○受入先機関との研究エフォート・研究環境の整備・予算措置などのすり合わせが難しい ○民間企業には独自のルールがあるため、独立した研究を行うのは難しい ○企業で採用された人への評価方法が適切でない ○書籍や書籍での章執筆について評価していただきたい
C	経費に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○購入した物品の移設を許可してほしい（4件） ○着任初年度の予算について、着任時期によっては短期間で使用しなければならず非効率（4件） ○研究費の支援期間を長くしてほしい（3件） ○年度を超えての繰り越しを認めてほしい（2件） ○用途の限定を緩和してほしい（2件） ○研究費の増額を望む ○環境整備費と研究費の使途の違いが不明瞭 ○環境整備費の定義が曖昧 ○ライフイベントが生じた場合に支援期間の延長ができるとよい